

2026/5/10

課題名：原発性変形性関節症に対する PIP 関節人工関節置換術の術式別臨床成績に関する多機関共同
後ろ向き観察研究

◆研究の目的と概要◆

当院および共同研究機関では、primary osteoarthritis（原発性変形性関節症）に対する手指 PIP 関節人工関節置換術について、手術アプローチ別の治療成績を調べています。本研究では、ラテラルアプローチ、掌側アプローチおよび背側アプローチで行われた PIP 関節人工関節置換術の術後成績を比較し、疼痛、関節可動域、手指のアライメント、患者立脚型評価、合併症および再手術の有無を検討することで、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

本研究は、通常診療で得られた診療情報および画像情報を用いる後ろ向き観察研究です。新たな検査、治療、来院をお願いすることはありません。

◆対象となる患者さん◆

2010 年 1 月 1 日から、2026 年 5 月 10 日までの間に、当院または共同研究機関において、primary osteoarthritis（原発性変形性関節症）に対して PIP 関節人工関節置換術を受けた方。

共同研究機関は、京都大学医学部附属病院整形外科、兵庫県立尼崎総合医療センター整形外科、神戸市立医療センター中央市民病院整形外科、関西電力病院整形外科です。

◆研究に使用される情報・試料◆

本研究では、通常診療で得られた診療情報および画像情報を使用します。使用する情報は、手術日、最終観察日、年齢、性別、罹患指、診断名、使用インプラント、手術アプローチ、術前および術後の疼痛評価（VAS）、PIP 関節可動域、QuickDASH、X 線画像上の coronal deviation、合併症、再手術の有無などです。

画像情報として、手指単純 X 線画像を使用し、PIP 関節の coronal deviationなどを計測します。共同研究機関から画像情報の提供を受ける場合は、氏名、患者 ID、生年月日など、個人を直接特定できる情報を削除または置き換えたうえで取り扱います。

本研究で新たに試料を採取することはありません。

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026 年 6 月 15 日以降

◆研究方法◆

本研究は、診療録、手術記録、外来記録、リハビリテーション記録、患者立脚型評価、ならびに手指単純 X 線画像を利用します。対象となる患者さんの診療情報を後ろ向きに収集し、手術アプローチ別

に、疼痛、関節可動域、QuickDASH、X 線上の coronal deviation、合併症および再手術の有無を比較検討します。

共同研究機関では、該当症例の有無および概数を確認したうえで、研究として実施可能な場合には、各機関の規定に従って必要な手続きおよび許可を得た後、匿名化された診療情報または画像情報を当院へ提供提供いただきます。画像計測は、必要に応じて当院で一括して行います。

本研究の共同研究者は、京都大学医学部附属病院整形外科の池口良輔先生、野口貴志先生、今中俊秀先生、兵庫県立尼崎総合医療センター整形外科の松本泰一先生、神戸市立医療センター中央市民病院整形外科の竹内久貴先生、関西電力病院整形外科の貝澤幸俊先生を予定しています。

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報および画像情報の利用についてご了承ください。場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

整形外科 研究責任者 津村 卓哉

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター） ★を@に変換ください。

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- ・ 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- ・ 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- ・ 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- ・ 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明